

鳥取市スマイル月間の取組

鳥取市立国府東小学校

【思い合う心を育てたい！】 ホームページから抜粋

国府中学校区の「知」「徳」「体」の取り組みと連動させ、本校でも3つのプロジェクトとして取り組みを進めています。今日は、その中の「徳」について紹介します。

学校教育目標の一つ「つながる」「思い合う」姿を目指して、スマイル月間にスタートした「万葉の木」。友だちにしてもらって嬉しかったことや、友だちの頑張っている姿など、毎週水曜日までに各学級で葉っぱに書いて話し合い、木曜日には、葉っぱに書かれた内容（各学級の代表の葉っぱ）を、放送担当が読み上げます。読み上げた後、その葉っぱは「万葉の木」に貼られます。

放送で読み上げられている時間は、葉っぱに書いた子も、書かれた子も、嬉しそうに聞き、校内が優しい空気に包まれます。

取り組みを開始してから3週間がたち、葉っぱが茂ってきました。「思い合いの葉っぱ」が増えるとともに、子どもたちの心も温かく豊かになっていくことを願っています。



【3年生】学級活動「みんなのいいねを見つけよう」（スマイル月間中の参観日 6月20日）

事前にアンケートを行い、子どもたち同士が学級の友だちすてきなどころを書きました。それをもとに担任が「わたしは誰でしょう」というスリーヒントクイズを作りました。自分や友だちのよさに気づき、互いに認め合おうとする気持ちを育てる一助となればと願った学習です。

公開学習では、前半にクイズで誰のことか当てる活動をしました。第1ヒントですぐに当たったりなかなか当たらなかったりしましたが、「こんな（すてきな）人は誰かな」というクイズだったので、当たっても外れても、みんなにこにこ笑顔でした。

後半は、おうちの方からの手紙をサプライズで読んでいただきました。おうちの方から改めて自分のすてきなどころを聞くことができ、みんながとても嬉しそうでした。

